事例No.	726
公表年度	H30
団体の属性	指定都市
団体名	兵庫県神戸市

事例区分	公営企業

タグ	・交通事業 ・教育・子育て

事例種類	その他

事例内容・タイトル

「U-15定期券の発売」「海岸線中学生以下無料化社会実験の実施」～市営交通　これからの100年に向けて～

出典

雑誌「公営企業」先進事例紹介（平成30年8月号）

先進事例紹介



「U-15 定期券の発売」
「海岸線中学生以下無料化社会実験の実施」
～市営交通　これからの 100 年に向けて～

神戸市交通局　営業推進課

1. はじめに

神戸市は、六甲の山脈により南北の二つの市域に分かれており、瀬戸内海側の東西に細長く帯状に広がる既成市街地と、内陸部に連なる緑豊かな西北神地域からなっています。

この神戸のまちを市街電車が初めて走ったのは、明治 43 年（1910 年）のことであり、市電の前身である神戸電気鉄道株式会社により、春日野道から兵庫駅前間（約 5.9km）において開業しました。その後、未開通路線に対する市民からの早期開通の声に応えるため、神戸市が事業を継承し、大正 6 年（1917 年）8 月 1 日、「神戸市電気局」を設置し、市営として発電、配電及び市街地路面電車事業を開始しました。

神戸市電は、東西に長い神戸の市街地の要所を結びつつ、大阪や姫路と神戸を結ぶ各電鉄路線の市内各駅へのアクセスの向上を図り、神戸市民の足として、戦時の厳しい時代も乗り越え、その役割を果たしてきました。

また、戦後の都市部への急激な人口集中やドーナツ化現象、あるいは、モータリゼーションの進展、西北神におけるニュータウン開発など、神戸のまちを取り巻く社会経済情勢や、まちの発展・変遷にあわせ、市バスの運行開始（昭和 5 年）、市電の廃止（昭和 46 年）、西北神地域と市街地を結ぶ地下鉄西神・山手線の開業（昭和 52 年）やインナーシティの活性化を図るリーディングプロジェクトとしての地下鉄海岸線の開業（平成 13 年）など、市営交通は、神戸のまちにおける公共交通網の重要な一翼を担ってきています。

そして、今日、市バス・地下鉄は、150 万人の市民の足として、1 日あたり約 50 万人の皆さまにご利用いただいており、昨年の平成 29 年 8 月には 100 周年を迎えることができました。

これを契機に、神戸市交通局として、新たに通学だけでなく塾や習い事の場合にもご利用いただける「U-15（アンダージュウゴ）定期券」の発売や地下鉄海岸線における中学生以下の無料化社会実験を行うこととしました。

2.「U-15 定期券」の発売

(1)　「U-15 定期券」とは

「U-15（アンダージュウゴ）定期券」は、平成 29 年 4 月 1 日から、中学生以下の方を対象に発売を開始し、地下鉄においてご利用いただけるものです。

これまでの地下鉄通学定期券は、条例等で指定している学校等への通学目的に限定し、自宅から通学先までの最短経路しか発売を認めていませんでした。

「U-15 定期券」は、通学定期券では認められていない通学以外の目的での発売を認めることで、塾や習い事など、通学経路以外の区間にも幅広くご利用いただけるようにした定期券です。

これにより、通学証明書だけでなく、中学生であれば生徒手帳または学生証明書、小学生以下であれば健康保険証など年齢を証明できる書類を定期券発売窓口で提示いただければ、中学生以下のどなたでも定期券の購入が可能となりました。

(2)　「U-15 定期券」の目的

「U-15 定期券」は、神戸市が進める「安心して子育て・教育ができるまちづくり」に貢献するとともに、地下鉄の利用を促進することを目的としています。

子どもの学習塾や習い事などで、これまで地下鉄の回数券や PiTaPa（利用額に応じて割引のある交通系 IC カード）などを利用して通われていたご家庭にとって、「U-15 定期券」をご利用いただくことにより、少しでも負担の軽減につながればと考えています。

(3)　他鉄道事業者の実施状況

関西の主な鉄道事業者では、割引率の低い通勤定期券で、経路・目的を限定しない小児用の定期券を発売していますが、通学定期券で自由な用途で利用可能な定期券は発売していません。

全国の公営地下鉄では、一部で通学定期券の用途・目的をなくしたものを発売している事例がありますが、関西の鉄道事業者においては、公営・私鉄を通じて神戸市交通局が初めての実施となります。

(4)　「U-15 定期券」の利用状況

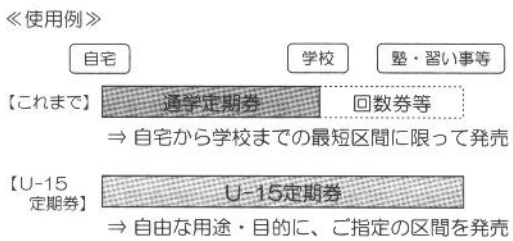
「U-15 定期券」については、導入後 1 年間で、合計 876 枚（中学生：507 枚、小学生以下 369 枚）発売しました。

また、利用者からの反響や利用の傾向、乗車料収入への影響を把握するため、「U-15 定期券」購入者を対象に、購入目的（通学か通塾等か）や通塾の頻度などについてアンケート調査を実施しました。

アンケート結果などから利用状況を見ると、「U-15 定期券」の新設により、新たに地下鉄をご利用いただけるようになった方など、一定の増収効果は認められるものの、多くは回数券や PiTaPa で地下鉄をご利用いただいていた方が料金の安価な「U-15 定期券」に移行している状況であり、収支としては減収が増収を大きく上回っている状況です。

一方、アンケートの自由意見では、「毎日塾に通うので便利で助かります。」「「U-15 定期券」は本当にありがたいです。」などといった声をいただいており、利用者からは大変ご好評を得ています。

今後もより多くの子どもたちにご利用いただき、神戸市が若者や子育て世代から選ばれるまちとなるよう、引き続き PR に努めていきたいと考えています。



≪事業概要≫

① 発売日：平成 29 年 4 月 1 日から発売

② 対象者：中学生以下

③ 購入に必要なもの：通学証明書または健康保険証など年齢を証明できる書類

④ 販売場所：地下鉄の各定期券発売所

（三宮駅、新長田駅、名谷駅、西神中央駅、神戸駅前の各定期券発売所）

⑤ 割引率：約 60%（地下鉄通学定期券と同率）



３．海岸線中学生以下無料化社会実験の実施

(1) 経緯

地下鉄海岸線の沿線は、神戸市が全市的課題としている市街地西部の活性化のため、夜間人口、昼間人口、交流人口を増やすという方向性をもって、様々な取り組みをしています。

その中で、既設インフラの有効活用ならびに若年世帯、子育て世帯等の沿線地域への交流・流入・定住を促進させ、将来の乗客増につなげることを目的として、平成 29 年 7 月 1 日から、「海岸線中学生以下無料化社会実験」を始めることとなりました。

(2) 海岸線中学生以下無料化社会実験とは

「海岸線中学生以下無料化社会実験」では、中学生以下でその確認ができる方を対象に、海岸線全線がいつでも、無料で乗り放題となる磁気カード（「海岸線中学生以下フリーパス（以下、フリーパス）」）を発行しています。

これまでも、土日祝日などにおとな 1 人に対して、小学生以下 2 人まで無料となる「エコファミリー制度」があり、多くの方にご利用をいただいていますが、対象が子ども料金を適用される小学生までということと、利用日が限られているという制約がありました。

今回の実験では、海岸線に限ってではありますが、対象を中学生まで拡大し、かつ利用日や利用方法に制限がないという点において、エコファミリー制度よりも使いやすい制度になっていると考えています。

また、中学生以下という義務教育年齢の方を対象とすることで、対象者が保護者の方と行動をともにしてもらえ、

その保護者分として乗客増効果が期待できるのではないかとも考えています。

なお、本格実施に向けては、さらに効果等を検証する必要があることから、平成 30 年度も継続して実施しています。

(3)　利用状況

平成 29 年度の 7 月～3 月までで、合計 8,216 枚を発行しました。また、第 2 期（10 月～12 月）の申込時には利用者アンケートを実施しました。

アンケート結果からは、フリーパスの利用目的としては「買い物」が非常に多く、次いで「レジャー」「習い事」と続きました。また、出かけた先については、「ハーバーランド」や「新神戸／三宮」のほか、平成 29 年 6 月からオープンした「イオンモール神戸南」のある「中央市場前」が多いという結果になりました。

アンケートの自由意見では、「フリーパスや U-15 定期券など便利で助かります。」「子どもたちが成長・生活しやすい環境であることは良いことだと思う。」「継続してもらえたらありがたい。」という意見がある一方で、「3 か月ごとの更新が不便なので、せめて半年又は 1 年にしてほしい。」というご要望も頂いています。

社会実験の継続また、本格実施をするかどうかについては、財政的な面や他社局への影響等も考慮しながら、慎重に判断をしたいと考えています。

≪事業概要≫

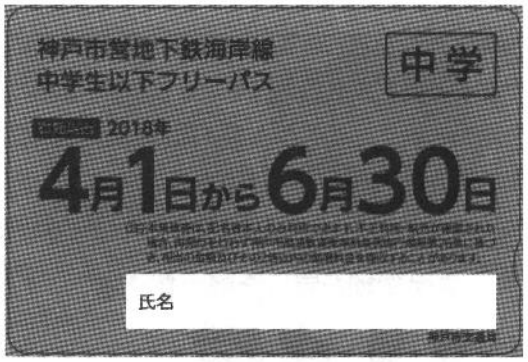
① 実施期間

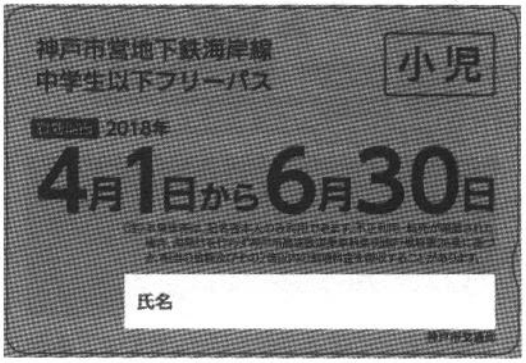
平成 29 年度：平成 29 年 7 月 1 日から
平成 30 年 3 月 31 日

平成 30 年度：平成 30 年 4 月 1 日から
平成 31 年 3 月 31 日

※3 か月単位で更新が必要です。







② 有効区間・時間帯

市営地下鉄海岸線三宮・花時計前駅から

新長田駅間

終日

※新長田駅で西神・山手線との乗り換えの際には、一旦改札を出ていただく必要があります。

③ 対象者

中学生以下の方で、学生証・住民票等、公的機関が発行した書類等によりその確認ができる方

④ 申込場所

地下鉄三宮定期券発売所、新長田定期券

発売所

⑤ 料金

無料

4. おわりに

神戸のまちは、「若者に選ばれるまち＋誰もが活躍するまち」の実現に向け、未来を担う若者に選ばれるとともに、高齢者や障がい者、外国人の方々など、誰もが安心して暮らし、活躍できるまちづくりを進めていきます。そのため、高齢社会に対応した安全・快適な交通環境の形成をはじめ、誰もが利用しやすい公共交通網の一層の充実を図ることとしており、市バス・地下鉄の果たす役割・重要性は今後ますます高まってきます。

神戸市交通局は、次の 100 年に向け、これからも人と環境にやさしい公共交通機関として、時代のニーズに対応し、市民のみなさんに信頼され、必要とされる安全・安心な「市民の足」としての役割をこれまで以上に果たし、神戸の「ひと」の暮らしと「まち」の発展を支えてまいります。

